

2022年度 第2回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2022年5月17日（火）

場 所 豊岡市役所本庁舎7階 第2委員会室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前9時30分

閉会時間 午前11時00分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	教育総務課長	永井 義久
	こども教育課長	和田 晃典
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	恵後原 博美
	こども育成課長	吉本 努
	こども育成課参事	吉谷 孝憲
	教育総務課課長補佐	植田 真美
	教育総務課教育総務係長	藤田 祐

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

佐伯 和亜 委員

第2 前回の会議録の承認

2022年4月21日（木）開催 第1回定例会

第3 教育長の報告

第4 議事

- 議案第3号 物件購入契約の締結に関する意見について（小学校学習用端末）
- 議案第4号 豊岡市学校運営協議会委員の任命について

- 議案第5号 豊岡市学校評議員の委嘱についてについて
- 議案第6号 豊岡市教育支援委員会委員の委嘱について
- 報告第12号 専決処分したものの報告について
- 報告第13号 寄附物件の受納について

第5 協議事項

- 1 教育委員会の点検・評価報告書について
- 2 教育委員が務める各種協議会等の委員について
- 3 2022年度教育委員会活動計画について

第6 教育委員会事務局の報告

- 1 教育総務課
 - (1) 豊岡市奨学生の応募状況について

- 2 こども教育課
 - (1) 生徒指導について
 - (2) 「トライやる・ウィーク」「自然学校」の視察について
 - (3) 非認知能力向上対策事業「演劇ワークショップ」
 - (4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

- 3 こども育成課
 - (1) 就学前児童数について
 - (2) 認定こども園整備事業説明会の開催について
 - (3) 豊岡めぐみ・豊岡ひかり幼稚園の統合に伴う園名について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午前9時30分

(教育長)

ただ今から、2022年度第2回教育委員会会議を開会します。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、佐伯委員にお願いしたいと思いますのでよろしく申し上げます。

(佐伯委員)

はい。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。4月21日に開催しました第1回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回4月21日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

4月27日に奈良市で近畿都市教育長協議会が開催され、奈良先端科学技術大学院大学の塩崎学長が講演されました。このような大学にしたいというビジョンの話がありました。

VUCAの時代とよくいわれています。Vは変動性、Uは不確実性、Cは複雑性、Aは曖昧性、それぞれの英語の頭文字を取って、VUCAといい、変動で不確実で複雑で曖昧だという時代がこれから来ます。そうした時代に対応できる学生を育てていきたいという話でした。

例えば、VUCAの時代の典型がコロナです。コロナが起きるとは誰も思っていませんでしたし、先行きが全く分かりません。だから、誰もその対応策を知りません。それから、ロシアとウクライナの戦争についても、こんなに長期にわたり、悲惨なことが起きるなんて誰も思っていませんでした。NATOでも口をはさめないような緊迫した関係性があります。どのようにすればよいのか全く曖昧で分かりません。

身近なところではICTについても同じことがいえます。こんなにもすぐに1人1台端末が整備できるなんて、私たちは思っていませんでした。1人1台端末が整備できても、それをどう使うのかということについてはまだ曖昧なところがあります。

そして、カーボンニュートラルのことについても同じです。曖昧な時代だからこそ、出てきた課題に対しては、単一の専門性だけでは解決できません。カーボンニュートラルであれば、2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにするということですが、そのための技術“ブレイクスルー”でいえば、理学系や工学系の力が必要になります。さらに社会制度自体を変えていかなければなりません。社会制度を変えようとすれば、法学的な視点や経済的な視点における専門性も

必要です。市民の生活自体も変えていかなければなりません。行動変容のために私たち市民が取り組んでいるようなエコスタイルやエコバッグなどにおいては、社会的な視点や心理学的な視点が必要になってきます。よって、理学、工学、心理学、社会学、法学、経済学を協働させ、カーボンニュートラルに向かわなければなりません。

そのためには、自分の専門性だけに凝り固まるのではなくて、いろいろなものの見方、多様性を身に付けなければなりません。多様性を身に付けるためには、共創、共に創るという行為が必要になり、奈良先端科学技術大学院大学では、いろいろな専門性を持った者が何かの課題を解決するために共創するというシステムを作りたいということでした。

目指すは、チーム桃太郎です。強くて若い桃太郎だけでは鬼退治はできず、犬だけでも、猿だけでも鬼退治はできません。犬と猿と雉がいて鬼退治ができるのです。犬は相手の足を噛む、猿はひっかく、雉は目を突つつく、最後に桃太郎が投げ飛ばすというチーム桃太郎のように、いろいろな者がいろいろな分野の専門性を発揮して、解決するという力を身に付けなければならないということでした。

豊岡市の小中学校では、やはり協働的な学びをする必要がありますし、その基礎・基本として、演劇ワークショップを足掛かりにしています。協働的な学びの環境を作るためには、極小人数の規模ではできないので、その規模を何とか市全体で整えていこうとする私たちの視点は間違っていないと、改めて感じました。

【日程 第4 議事】

(教育長)

日程第4 議事に移ります。議案第3号 物件購入契約の締結に関する意見については、この後、議会に議案として提出され、議決を得るべき事項となり、議案第4号 豊岡市学校運営協議会委員の任命について 及び議案第5号 豊岡市学校評議員の委嘱について、議案第6号 豊岡市教育支援委員会委員の委嘱については、人事に関する議案となりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17条により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

委員の承認を得ましたので、議案第3号から議案第6号については、非公開といたします。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。

○ 議案第3号 物件購入契約の締結に関する意見について

【非公開会議】

≪ 物件購入契約の締結に関する意見について、教育総務課長が説明し、審議の結果、異議なしと承認された ≫

○ 議案第4号 豊岡市学校運営協議会委員の任命について

【非公開会議】

《 豊岡市学校運営協議会委員の任命について、こども教育課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

○ 議案第 5 号 豊岡市学校評議員の委嘱について

【非公開会議】

《 豊岡市学校評議員の委嘱について、こども教育課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

○ 議案第 6 号 豊岡市教育支援委員会委員の委嘱について

【非公開会議】

《 豊岡市教育支援委員会委員の委嘱について、こども教育課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

(教育長)

ここまでが非公開の審議となっております。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。

続きまして、議事報告に移ります。報告第12号 専決処分したものの報告について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第12号 専決処分したものの報告について

《教育総務課長の説明概要》

専決処分したものの報告について、資料に基づき説明する。

令和 4 年 3 月 26 日に小坂小学校駐車場で、強風の影響で大型のゴミ箱が移動し、駐車していた車のバックドア及びリヤバンパーを損傷させた損害賠償事案が発生した。損害賠償額は 160,820 円で、示談が成立している。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、専決処分したものについて、ご承知おきください。

続きまして、報告第 13 号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第 8 号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体 3 件、個人 1 件の合計 4 件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程 第5 協議事項】

(教育長)

日程第5 協議事項に移ります。1 教育委員会の点検・評価報告書について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育委員会の点検・評価報告書について

《教育総務課長の説明概要》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づく、2021年度事業分の教育委員会の点検・評価報告書(案)について、資料に基づき説明する。

教育委員会会議及び教育委員の活動については、1年間の総括を記述しており、委員の皆さんのご意見をいただきたい。

本日いただいた意見等を踏まえ、修正を加え、来月の教育委員会会議に議案として諮る予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

「教育委員活動のまとめ」において、「新型コロナウイルス感染症対策について、小中学校33校の理科室、音楽室、被服室等の空調設備の整備を進め、2021年夏までに整備を完了しました」とありますが、目的は熱中症対策ではなかったかなと思います。

(向井委員)

「学校を取り巻く環境は変わってきており～」とありますが、「大きく変わっており」などの言葉を入れてはどうかと思いました。

(佐伯委員)

同じく、「地域の声に耳を傾ける機会も多く～」とありますが、今までよりもさらに寄り添い地域の声に耳を傾けているなどの意味合いの文章にされてはと思います。

(教育長)

それでは、「さらに地域の多様な声に耳を傾ける機会も多くなることが予想され、教育委員会の役割はますます重要なものになると認識しています」に修正しましょう。

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

委員の皆さんからの意見を踏まえ、事務局で修正していただきたいと思います。

この評価報告書は、兵庫教育大学大学院の安藤准教授の総評を踏まえ、来月の教育委員会会議で審議することといたします。

続きまして、2 教育委員が務める各種協議会等の委員について、教育総務課教育総務係長の説明をお願いします。

2 教育委員が務める各種協議会等の委員について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

教育委員が務める各種協議会等の委員について、資料に基づき説明する。

会議の内容や今までの経過等をご理解いただいている委員に、引き続き出席いただきたいと考え、昨年度と同様の協議会の委員に就任いただくこととして、案を作成した。案については教育委員に事前に確認していただいた。備考欄に例年の会の回数や、開催時期を記載しているため、参考にしていきたい。

お示ししている案を改めて確認いただき、ご意見等があればお願いしたい。

(教育長)

事務局から説明がありましたが、ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

異議がないようですので、案としてお示しした各種協議会等の委員をお願いしたいと思います。

続きまして、3 2022年度教育委員会活動計画について、教育総務課教育総務係長の説明をお願いします。

3 2022年度教育委員会活動計画について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

2022年度教育委員会活動計画について、資料に基づき説明する。

2021年度の実績を表の真ん中の列に、今年度の予定を右の列に記載している。そして、事前にお聞きした教育委員の意見・希望等をゴシック体で、事務局案を明朝体で記載している。

移動教育委員会、教育懇談会については、昨年度は「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」地区説明会、「豊岡市立小中学校の適正規模・適正配置のあり方について」答申説明会、「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画（案）」説明会への出席に替えて実施した。

学校園訪問は、昨年度は8月から11月に13校園で実施した。自然学校の視察は昨年度は実施せず、トライやる・ウィークの視察を6月3日に実施した。

管外行政視察については、昨年度は養父市教育委員会と養父市立関宮学園に視察に行く予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により視察は実施せず、質問事項等を取りまとめ、回答内容を共有させていただいた。

協議会等については、昨年度は教育委員協議会を4月と2月に開催し、総合教育会議の事前学習会を5月と11月に開催した。

今年度の活動については、教育委員の意見を参考にし、事務局で調整させていただきたいが、本日、改めて意見や事前意見の補足などがあれば、お聞きしたい。

(教育長)

事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

教育委員の皆さんからとてもよい意見をいただいています。昨年から県教育委員会が盛んに「教育委員自らが課題意識を持って、活動しましょう」ということをいわれています。今回事前に教育委員から意見を聞き、協議することとしましたので、ぜひとも形にしてほしいと思います。例えば、「不登校の問題はどうでしょうか」などと校長等と教育委員の意見交換の機会があるということです。事務局に調整していただきたいと思います。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) 豊岡市奨学生応募状況について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) 豊岡市奨学生の応募状況について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市奨学生の応募状況について、資料に基づき説明する。

昨年度から奨学金貸与額、奨学生の資格など募集の内容について、変更はない。

募集期間について、昨年は延長を、一昨年は第2次募集を行ったが、今回は募集期間どおりとし延長等はしていない。応募は大学生1人であった。

少ない原因としては、国が2020年に就学支援制度として授業料や入学金の免除・減額を実施

していることや、給付型の奨学金も実施していることなどが考えられる。

奨学生選考委員会を6月17日（金）に開催し、そこで選考委員の意見を聞き、最終的に定例教育委員会で審議いただきたいと考える。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（飯田委員）

今後、応募者が出てきたとしても、募集期間が終了しているため、受付はしないということでしょうか。

（教育総務課長）

今年度の利用者の貸与開始時期が遅れてしまいますし、選考に当たって事前に選考委員に作文審査を依頼していますので、難しいと考えます。

（教育長）

その他、ご質問はありませんでしょうか。

（委員）

なし

（教育長）

続きまして、こども教育課からの報告に移ります。(1) 生徒指導について、こども教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 生徒指導について

《こども教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（飯田委員）

いじめの状況について、「金品を隠されたり、壊されたりする」事案が1件あったということですが、どのような状況でしょうか。

（こども教育課長）

実態は、「金品を隠されたり、壊されたりする」事案ではなく、下駄箱の中の靴がひっくり返されていた事案になります。

(向井委員)

「パソコンや携帯電話等で、誹謗・中傷や嫌なことをされる」事案が4月だけで4件というのは多いですね。整備した端末が関係しているのでしょうか。

(こども教育課長)

スマホのLINEでのやりとりの中で、悪口を言われたことなどか入っています。昨年度から少しずつ増えてきている状況にあります。

(向井委員)

子どもたちが端末の操作に慣れてきたことが関係しているのかなと心配になりました。

(こども教育課長)

2年に1回、自分で使える端末を持っているかどうか調査を行っています。小学校の低学年でも増えてきている状況にあります。委員が言われたように、端末に触ることが当たり前になっていて、端末で友達とつながっているという状況が確実に増えてきていると考えます。

(向井委員)

何らかの対策をお願いしたいと思います。

それから、中学校の欠席者数が多くなっているのは、どのような理由が考えられますか。

(こども教育課長)

昨年度の中学1年生の子どもたちに不登校の数が多く、その子どもたちが4月に2年生になり、引き続き2年生での不登校が続いているということです。

(教育長)

ICTを使うようになる一方で、そのような事案が起きることは予想できたことです。挙がっている事案については氷山の一角で、ほかにもたくさんあるということが想像されます。情報を使うというリテラシーとあわせて情報モラルをセットで、学校の中でしっかりと指導していかなければならないと思っています。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2)「トライやる・ウィーク」「自然学校」の視察について、こども教育課長の説明をお願いします。

(2) 「トライやる・ウィーク」「自然学校」の視察について

《こども教育課長の説明概要》

「トライやる・ウィーク」「自然学校」の視察について、資料に基づき説明する。
教育委員視察については、6月2日に予定している。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(3) 非認知能力向上対策事業「演劇ワークショップ」について、こども教育課長の説明をお願いします。

(3) 非認知能力向上対策事業「演劇ワークショップ」について

《こども教育課長の説明概要》

非認知能力向上対策事業「演劇ワークショップ」について、資料に基づき説明する。
今年度から市内のすべての小学校1年生に演劇ワークショップを実施する。年間3回を予定している。

教育委員の皆さんにも都合がつけば、参観いただきたいと考える。

(教育長)

秘書広報課が業者に依頼し、演劇ワークショップの動画を作ってくれます。今後、準備が整えば、市のホームページにも掲載されると聞いています。

(佐伯委員)

演劇ワークショップについて、ファシリテーターが毎回違うのであれば、回ごとのファシリテーターがどなたなのかを後日教えていただきたいと思います。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

(4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、ふれあいルームの通級児童生徒数は実数6人、うち2人はほぼ毎日来所しており、延べ38人である。小学校3年生からふれあいルームに通っていた生徒が中学校進学を機に学校に通えるようになった。午前中のみ時間になるが、特別支援学級で支援を受けながら継続できている。また、水曜日の夜間と土曜日に行っている臨床心理士による教育相談は、7人が利用した。

特別支援の取組状況は、電話相談13件、センターへの来所や学校園を訪問しての教育相談は、67件であった。認知能力・視機能・知能などの各種検査は17件実施している。

家庭児童相談の取組状況は、4月に虐待通告を受けたものは2世帯4人であった。1件目は、中学3年生のケースで、2022年1月に母からの身体的虐待で家出し、こども家庭センターで指導していた。母のストレスが高くなると暴言が続き、祖母がその対応に苦慮し、相談につながった。祖母をキーパーソンとして学校と連携しながら、親子関係と児の困り感の改善に向けて支援している。

2件目は、3人きょうだいのケースである。2022年4月に転入した家族で、母は適応障害など精神疾患があり、母から父への暴言・暴力による面前DV心理的虐待と不登校など家庭内の課題が多い。医療機関を含めたケース会議を持ち、リスクアセスメントと役割分担を検討し、支援していくことになる。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、こども育成課からの報告に移ります。(1) 就学前児童数について、こども育成課長の説明をお願いします。

3 こども育成課

(1) 就学前児童数について

《こども育成課長の説明概要》

就学前児童数について、資料に基づき説明する。

地区別児童数0～5歳児合計は3,037人で、昨年と比べて190人減っている。現在の5歳児は570人で、0歳児は441人であり、129人の差があるということが1つの課題だと思っている。差が多いところでは、現在の11歳児は712人、0歳児は441人であり、271人の差がある状況であり、右肩下がりの状況が続いている。今後もこの右肩下がりの傾向が続くものと考えている。

また、昨年474人の0歳児が、1歳児では459人になっているということは、15人が社会動

態として減っているという見方ができる。増える要素がない状況であり、社会動態としてもなかなか増やすことは難しいと考える。こうした状況がこれからも続くと考えられるため、いろいろな形の園運営も必要と考える。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(飯田委員)

教育委員会の問題ではありませんけれども、子どもが少なくなっている状況を見たときに、結婚率はどうなのでしょう。

(こども育成課長)

豊岡だけでなく、少子化になっている要因として、結婚をしている人数がどんどん減っていることと結婚自体が晩婚化し、子どもを産む人数が減る傾向があります。こうしたことが少子化に大きく影響していると思います。絶対数としての分母が大きければ、少子化の影響は少ないと思いますが、豊岡の場合は全体の分母が小さいので、少子化の影響が顕著に出ていると思います。結婚を促すような事業は展開しており、成功例はありますが、全体から見ると少ない状況だと思います。

(飯田委員)

豊岡市の場合、子どもの減少率は他市町などと比べて、落ち込んでいる部分は非常に大きいですか。

(こども育成課長)

他市町の状況等の詳細までは承知しておりませんが、基本的に傾向としては、同じだと思っています。地方に行けば行くほど、減少率は著しいと思います。

(教育長)

続きまして、(2) 認定こども園整備事業説明会の開催について、こども育成課参事の説明をお願いします。

(2) 認定こども園整備事業説明会の開催について

《こども育成課参事の説明概要》

認定こども園整備事業説明会の開催について、資料に基づき説明する。

アートチャイルドケア株式会社は、アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園の運営法人である。新田・中筋・神美地区については、3つの幼稚園を今年度末に閉園するが、アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園を認定こども園に移行し、その子どもたちを受け入れていただく予定である。今年度、施設整備や認定申請に入るなど本格的な事業を実施するにあたり、運営法人と市の協働で事業説明会を開催し、関係者と意見交換を行う。事業説明会で、運営法人から地域の方に対応方針を説明していただいたり、地域の方からの意見や不安、要望などについて直接

聞いていただくことを考えている。

日程・会場等について、日時は6月17日（金）午後7時30分から、会場は新田地区コミュニティセンターを予定している。対象者は希望する市民で、特に制限は設けていない。

内容について、幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画策定の経過や今年度の各園児数の状況などについて、市から説明し、その後、運営法人から、教育保育方針や保育園の現状、整備工事の概要等を説明していただく予定である。

説明会の周知について、市の広報、対象地区への隣保回覧、対象地区への区長への案内文書送付を考えている。そのほか、市議会への周知や記者配布資料、ホームページ掲載、防災行政無線等を併せて行う予定としている。

（教育長）

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

（委員）

なし

（教育長）

続きまして、(3) 豊岡めぐみ・豊岡ひかり幼稚園の統合に伴う園名について、こども育成課参事の説明をお願いします。

（3）豊岡めぐみ・豊岡ひかり幼稚園の統合に伴う園名について

《こども育成課参事の説明概要》

豊岡めぐみ・豊岡ひかり幼稚園の統合に伴う園名について、資料に基づき説明する。

3月25日教育委員会会議閉会後に資料配付をし、事前に説明させていただいた。

統合に係る諸事項の検討方法については、統合準備委員会等は設置しない、統合に係る諸事項は保護者と相談しながら決定することとする。

保護者説明会を5月13日（金）に実施し、これまでの経過、調整事項等の今後の検討スケジュールなどを説明した。合わせて、園名についても「豊岡幼稚園」を最終案として進めていることを説明した。

今後のスケジュールについて、2022年6月に最終案決定に向けて事務を進め、8月の教育委員会会議で条例改正を提案させていただき、9月の市議会でも条例改正についてはかり、正式に名称を決定する内容で進めていきたいと考えている。

（教育長）

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

（委員）

なし

（教育長）

これで各課からの報告を終了します。

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

日程第7 委員活動内容に移ります。

(飯田委員)

4月29日、雨の中で豊岡オリンピック陸上競技大会が行われ、兵庫県の大会に出場した小学生が走り、その子どもたちと少し話げできました。「学校でやらなくても地域でも頑張れる」「支えてくれる人がいたので、県の大会に出ることができ、優勝できた」と言って喜んでいました。また、先日、兵庫県スポーツ協会行事の中で、県知事が「部活のあり方が変わってきており、公式大会は学校からのみの出場でしたが、これからはクラブでも出場できる方向に文科省も含め、なりつつあるので、今、地域の中で取り組んでおられる方の協力をぜひもらいたい」とおっしゃっていました。学校の部活も変わってくると思いました。また、今後、学校にはさらに地域の方々に協力を求め、友好関係を築いて子どもたちを育てる環境を作ってほしいと思いながら聞いておりました。

それから、私は少年補導員を務め、夜に毎月1回日高地域を回り、また区の中も回っております。最近、子どもたちが夜に遊んでいる姿は見なくなりました。このことはよいことではあります。パトロールをしても、子どもたちが日中に外で遊んでいる姿を全然見なくなりました。もう少し活気のある社会、まちになってほしいと思いました。

(向井委員)

コロナ禍になって、3年目になりますが、先日、医師会がマスク着用の緩和について、また、幼児の場合に関することについても議論していました。幼児にとって、マスクで相手の表情が分からなくなることが将来どのような影響を及ぼすのか、とても心配しています。市内の保育士の先生方が、子どもたちの発達面への影響について、どのような思いを持っておられるのかお聞きしたいと思っています。

また、小学生について、コロナにより入学してすぐに学校が休業したことから学校生活が始まった子どもたちが現在、3年生になっています。その3年生と、コロナの影響を受けなかった子どもたちとを比べることはできませんし、よく分からない部分も多いと思いますが、何らかの変化が見られるのか、何ができて、何ができていないかなど現時点での状況や先生方の思いを知りたいと思っています。

それから、芸術文化観光専門職大学が2年目に入り、最近、神戸新聞で学生たちのことがよく取り上げられています。学生たちは豊岡の山や川の美しさや自然を肌で感じ、素晴らしいところでこの地を気に入ってくれていることを伺うことができました。豊岡に住む子どもたちや私たちにとっては、当たり前ですが、違う視点を持った学生たちと交流することで、子どもたちが刺激を受け、何か新しい発見が生まれるのではないかと思います。ふるさと教育などで積極的に子どもたちと交流してほしいと思いますので、そのような場ができることを望んでいます。

認定こども園の入園式についてです。現在はビデオや写真撮影を自由に許可している園と、その目で子どもの成長を見てほしいと撮影を控えるよういわれている園があり、園によって違いが

あります。それぞれの園の考えですので、理解できるのですが、コロナ禍で家族1人しか出席できないことがあったり、出産の時期と重なって行けなかったお母さんがおられたりします。撮影は一切禁止というより、コロナ禍なので、多少の柔軟性を持って対応していただければありがたいと思います。

(教育長)

コロナによって、子どもたちがどう変わってきたかということについては、また情報があればお伝えしていきたいと思います。教育委員の皆さんも園訪問・学校訪問の際に質問し、実際に保育所がどう感じているかということも聞き取っていただければと思います。

入園式での撮影については、園の意図があると思いますけれども、その意図が伝わっていないということもあります。それでよいのかどうかも含めて検討させていただきたいと思います。

(佐伯委員)

ゴールデンウィークが開け、コロナの感染者が増えてきて、修学旅行が延期になった学校も出てきました。これは想定内のことですが、延期になった学校については、何度延期になったとしても、粘り強く検討し、何とか子どもたちを修学旅行に行かせてあげてほしいと思います。

端末での誹謗中傷やいじめの件についてです。iPadやスマホの管理はもちろんのことですが、Switch等のゲームでも自由に会話ができるので、保護者や学校関係者は子どもたちがゲームを使用するときの注意点を念頭に置いておかなければならないと思います。

私の子どもが通う中学校では、衣替えの案内文書に「今年から衣替えの案内はしません。気候や自分の体調に合わせて、自分で考え、自由に選択してください」と記されていました。最初は驚きましたが、よく考えると、きちんと何月何日と決めていても、梅雨入りして肌寒いのに半袖というような状況も出てくると思います。気候や体調に合わせて調整できることはよいことだと思います。こうしたことは市内の学校すべてで取り組んでいることですか。

(教育長)

各学校で決めることになります。現在はそうした方向になっています。

(佐伯委員)

同じ学校でも、すでに半袖で登校している生徒もいれば、黒い学生服の生徒もおり、ちぐはぐな感じはありますが、よいことだと思いました。

(成田委員)

飯田委員が再任のあいさつの中で「仕事をしながら自分も成長した」ということをおっしゃいました。私も全く同感です。これからも教育に関わり、自分自身を成長させていくことができればと思います。

先日、ある学校の学校だよりをいただきましたが、とてもよいことを書いておられたので、読ませていただきたいと思います。

「子どもの成長に影響を与えてくださるのが地域の皆様です。周りの多くの大人たちが自分のことを分かってくれる、自分のことを見ていてくれると子どもたちが実感してくれるように、学

校と家庭と地域とが一緒になって、それぞれの強みを生かして、子どもの成長を支えていきましょう。皆様と出会えたことに感謝しながら、子どもが育ち合う、私たち大人も育ち合う、そんな1年間にしていきたいと考えています」と書かれていました。

特に「子どもが育ち合い、同時に地域が子どもたちを見つめることによって、大人たちも育ち合うようにしていきたい」という部分がとてもよいと思って、私も校長先生の言葉にあるように生きていければという思いを強く持ちました。

それから、私は豊岡市や但馬地域の文化芸術に関わる仕事をさせていただいています。先日、但馬地域の芸術文化振興の功績をたたえて、但馬文化賞の表彰式が行われ、選考委員として参加しました。この賞を与えられたのは、豊岡短期大学の岩田学長です。日本画を指導しておられる方ですが、この方の功績の一つは、保育士の造形教育の実技研修会の講師を長く務めてこられたということです。豊岡市の教育にも随分関係していることと思います。

また、但馬青少年文化奨励賞の表彰式も同時に行われ、2団体が受賞されました。一つは「あさごハーパーズ」というハーブの団体です。いろいろなところで演奏会やハーブ体験会を開催し貢献されていることにより表彰されました。朝来の子どもたちが中心ですけれども、小さい子どもから高校生まで、大変多くの子どもたちが参加しています。もう一つの団体は、日高東中学校の吹奏楽部です。顕著な活躍があったことにより表彰されました。この2つの団体からそれぞれ一部の子どもたちが表彰式に来て、演奏を披露してくれました。日高東中学校の指導にあたって先生ご自身が生徒の中に入って、一緒に楽器を演奏しながら、楽団としてまとめておられる姿に感心しました。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第3回定例教育委員会会議は、6月21日(火)午前10時00分から、本庁舎3階庁議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんでしょうか。

それでは、次回の教育委員会会議は、6月21日(火)午前10時00分から、本庁舎3階庁議室で開催します。

これもちまして、第2回教育委員会会議を閉会いたします。

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2022年 5月17日

教育長

委員